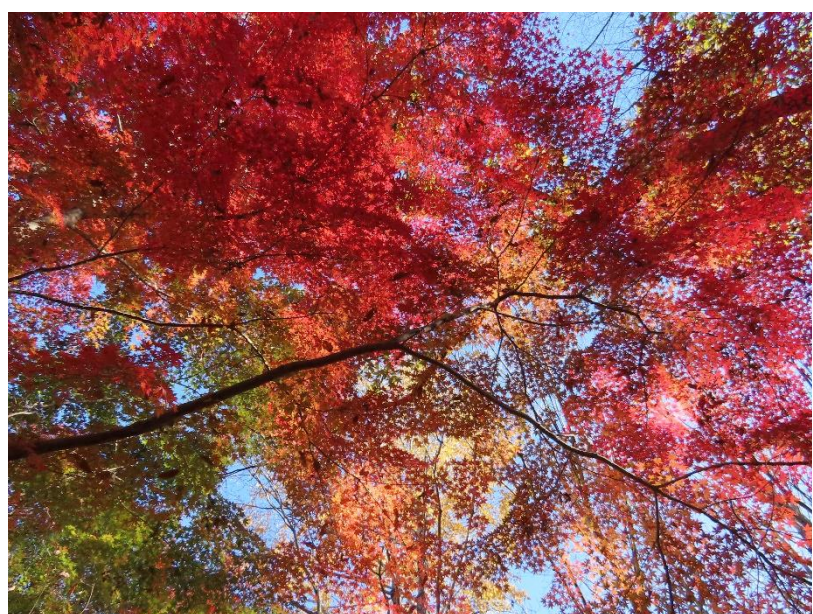
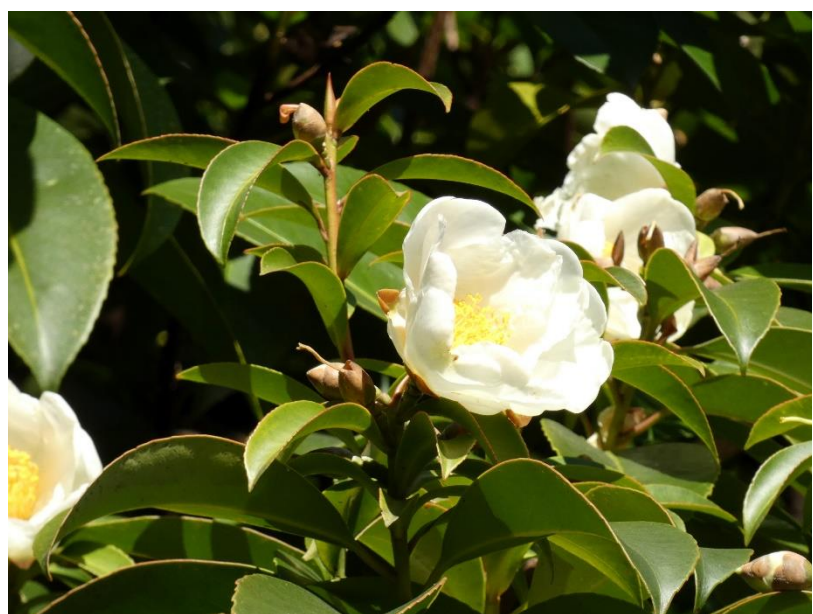




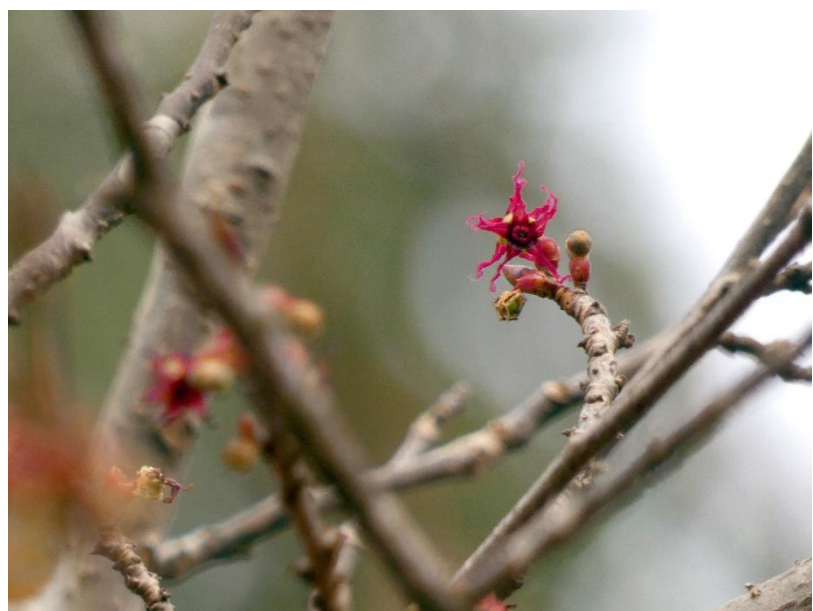
1位 メタセコイア



2位 イロハモミジ



3位 タイワンツバキほか



トピックス マルバノキほか

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

みごろの植物

第988号 2023年12月7日 次号予定12/21

今週のベスト3！

青い札が目印です

1位 メタセコイアの褐葉とセコイアの緑とのコントラストがますます際立ってきました。雄花のつぼみも金色に輝いています。

2位 イロハモミジ 緑から赤へ、紅葉のグラデーションが進んでいます。メグスリノキもまさに見ごろ、とってもきれいな薄赤色です♪

3位 タイワンツバキ 真っ白な花が高いところで咲いています。近くのカメリア・オレイフェラも見ごろです。



じゅもーく先生トピックス

★ヤツデとマルバノキ

Fatsia japonica ウコギ科、*Disanthus cercidifolius* マンサク科

多くの植物や昆虫にとって、冬は休眠の時期。でもわざわざそんな冬にあわせて花を咲かせる「変わり者」の植物がいます。園内各地に見られるヤツデはそのような植物の代表的なもので、この季節、白く小さな花がボール状に集まり、遠目からでもよく目立ちます。花からはたっぷりの花蜜が出て、ミツバチやハナアブ、キンバエといった昆虫に貴重な食糧を提供します。岩礫地（山地性）にひっそりたたずむマルバノキも、今の時期、赤黒い星型の花を背中合わせに2つずつ咲かせます。こちらは遠目からは花が咲いていることにすら気づかない程小さく地味な花ですが、強い刺激臭があり、これでハエの仲間を誘っているようです。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 奥山雄大

森林区は紅葉、黄葉がみごろです！
落ちた葉も美しいです。



① フウ 正門そばで紅葉が目立っています。実もたくさんついています。

② ナギイカダ 小さな花を見つけてください。つぼみもたくさん見つかります。

③ アツバキミガヨラン 青空を背景に、鈴なりについた白い花々がよく目立ちます。

④ ヒメイチゴノキ ベル型の白い花がまとまって咲いています。

⑤ サラセニア・レウコフィラ 捕虫葉が日に照らされて透けています。中をのぞくと虫が捕まっています。

⑥ マメヅタ 葉の間からたくさんの胞子葉が立ち上がっています。

⑦ ワカサハマギク[NT] さわやかな白い菊が咲いています。

⑧ コウヤボウキ 花の先がくるとカールしています♪

⑨ カラマツ 葉の色づき方がとてもきれい♪

⑩ カワラハンノキ 赤く垂れた雄花序(蕾)が目立っています。

⑪ ナンテン 濃い緑色の葉に真っ赤な実が目立ちます♪

⑫ ヤブサンザシ 赤い実がとてもかわいい！



見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。筑波実験植物園では、科の表示を「新エングラー体系」から「APG体系」へ変更しています。筑波実験植物園ホームページ <https://www.tbg.kahaku.go.jp/>



1位 ショクダイオオコンニャク



2位、トピックス ポインセチア



3位 アロエ・ラモシッシマ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第988号 2023年12月7日 次号予定12/21

今週のベスト3！

黄色い札が目印です

1位 ショクダイオオコンニャク (花は終わっています) 果実がだんだん熟し、中には種子ができています。熟したのから採取していくので、果実を見られる期間はあとわずかです。

2位 ポインセチア 高い木に赤い苞があざやかです。本来はこんなにワイルドな姿です。

3位 アロエ・ラモシッシマ 大きな株の上に、黄色い花が咲きました。オレンジ色の雄しべが出ています。

じゅもーく先生トピックス

2位 ポインセチア

Euphorbia pulcherrima トウダイグサ科

クリスマスの花として観賞されるポインセチアはメキシコ原産の植物です。花びらのように見えるのは苞あるいは総苞といわれる部分で、その真ん中にいくつもある黄色の部分の部分が本当の花です。多くの品種の苞は赤色ですが、含まれている色素は3種類のアントシアニン(カリスティン、クリサンテミン、ケラシアニン)で、そのうちの前の2種類はイチゴの実に含まれているものと同じ色素です。典型的な短日植物で、日の当たる時間が1日に12時間以下にならないとつぼみができず、花が咲きません。花が咲くと、苞の部分も色づきます。一般の家庭では夏に栽培することはあまりありませんが、本来は低木です。

国立科学博物館 名誉研究員 岩科司

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください

